

3 ^{あんぜん}安全なくらしを^{まも}守る

(1) ^{かじ}火事から人々を^{まも}守る



ひなんするとき
のルール

おさない
はしらない
しゃべらない
もどらない

^{しょうかかつどう}消火活動のようす

黄色いピンをぬいて、ホースを火元に向けてレバーをにぎると、水がいきおいよく出たよ。火元には少しづつ近づくことが大事だよ。



^{しょうぼうせつび}学校の消防設備

この前、わたしたちの学校では、ひなん^{くんれん}訓練がありました。

「火災報知器^{かさいほうちき}が鳴って、ひなんするよう^{ほうそう}に放送があったよ。」

「先生が、まどや防火とびらをしめていたね。」

全校の児童が運動場にひなんした後は、消防署の方が火事のと

きの注意や、ひなんの仕方について話をしてくれました。そして、消火器^{しょうかき}を使って消火訓練^{しょうかくんれん}もしました。

そこで、わたしたちは、学校の中にどんな消防設備^{しょうぼうせつび}があるのか、調べることにしました。



しょうか き
消火器



ねつかんち き
熱感知器



かんち き
けむり感知器



かさいほうち き しょうか
火災報知器・消火せん



ぼうか
防火とびら

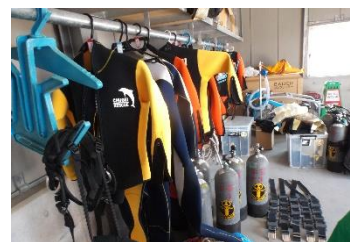


かさいじゆしん き
火災受信機

しょうぼうしょ 消防署ではたらく方の話

現在、41名の職員がはたらいています。14～15名が24時間体制で勤務をしていて、火災や救急の連絡があれば、いつでも出動できるようにしています。また、わたしたちは人の命・財産を守るために、きびしい訓練もしています。

もし火事にあったら「お・は・し・も」を思い出して、けむりを吸わないように姿勢を低くし、ハンカチなどを口に当てて早く逃げましょう。また火事の原因になる火遊びは、絶対にしないでください。



ち い き しょうほうせつ び 地域の消防設備

わたしたちは、学校のまわりや地域に、どんな消防設備があるのか調べることにしました。



しょうか せん
消火栓ボックス



しょうか せん
消火栓



しょうほうせつ び ひょう
消防設備の標しき



ぼう か
防火水そう



ぼう か い ど
防火井戸



ば しょ
ひなん場所

しょうほうせつ び
奈半利町消防設備の数

奈半利町内の数	
しょうか せん 消火栓	102 しょ か所
防火水そう	47 しょ か所
防火井戸	1 しょ か所

しら 調べて気づいたこと

- ・奈半利小学校の屋上も、ひなん場所だよ。
- ・消火栓が、見つけやすい色とデザインだね。
- ・消火栓は、消防団員や地いきの人が使っているよ。
- ・消防士は、防火水そうや防火井戸を使っているそうだよ。

ナスビ谷というところも、自然消防水利として利用しています。





加領郷消防とん所



防災倉庫



消防団員の服

奈半利町には、3つの消防分団があり、55人の団員がいます。

消防団員は、ふだんはそれぞれ自分の仕事をしていますが、火災

発生はっせいの通報つうほうがあれば、すぐに現場げんばにかけつけ、消火活動しょうかかつどうをします。

防災倉庫ぼうさいそうこには、土どのうや救助用資機材きゅうじょしきざいが入っています。



消防団員の方の話

わたしたちは、「自分たちの町は、自分たちで守りたい」という思いで活動しています。火災かさいの時に出勤しゅつどうするだけでなく、台風たいふうなどの災害さいがい時にも見回りみまわりをしたり、土どのうを運はこんだりしています。

訓練くんれんは毎月行い、水出しや設備せつびの点検てんけんをしています。日ごろの活動かつどうを定期的ていきてきに確認かくにんし、訓練くんれんをしてそなえることが大事だいじです。



わたしたちも、もしもの時にそなえて、日ごろから訓練することが大切だね。

奈半利町の消防団員

- 第1分団 26人
- 第2分団 17人
- 第3分団 12人

(令和6年1月1日 現在)

火事の原因

1. たばこ
2. たき火
3. コンロ

(令和4年)

ちゅうけいこういきれんごうしょうほう
中芸広域連合消防本部

しょうほう し ごと
○消防士の仕事

わたしたちは、消防の仕事や119番のしくみについてくわしく
しら ちゅうけいこういきれんごうしょうほうほん ぶ
調べるために、中芸広域連合消防本部に見学に行きました。

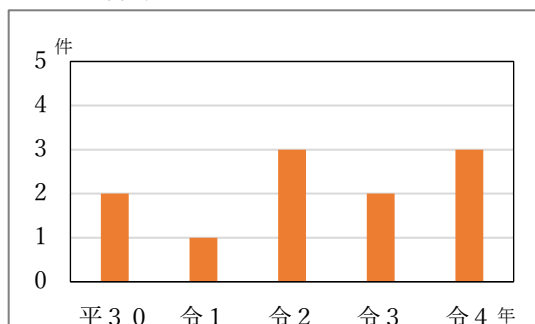


しょうほう し ごと
消防士の仕事

なはくんのノート

- | | |
|------------------|------------|
| ○ 消火活動 | ○ 救急活動 |
| ○ 救助活動 | ○ 消火や救助の訓練 |
| ○ 講習会 | ○ 防火の呼びかけ |
| ○ 消防車や救急車・道具の点検 | |
| ○ 消防設備の点検・取り付けしど | |

か さい けんすう
火災の件数(奈半利町) 平成30年~令和4年



火災や救急の時に電話をかけると、消防署の指令室につながり
ます。消防署の人に聞かれたことには、落ち着いて答えよう。

119番をかける3つのポイント

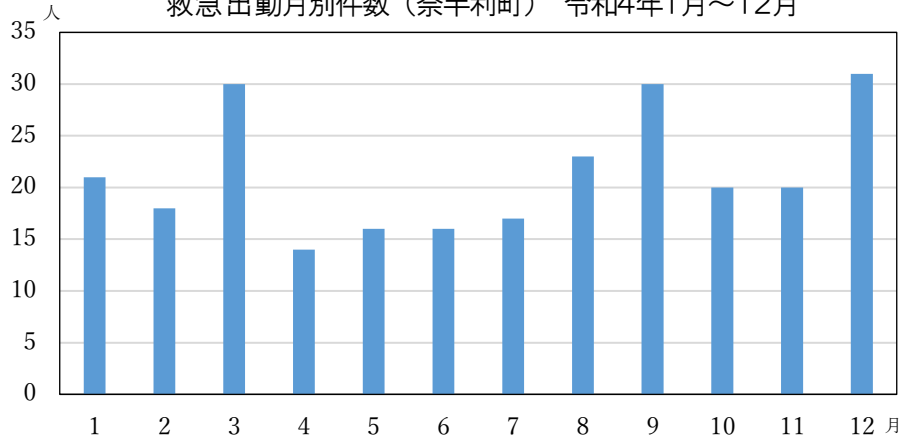
- ① 「火事」か「救急」かを伝える。
- ② 場所を知らせる。(近くの目標となる建物など)
- ③ どんな状況を伝える。
 - 火災のときは、何が燃えているか
 - 救急のときは、病人やけが人のようす(腹が痛い、頭が痛い、出血など)
 - ・病人やけが人は、男の人か、女の人か、また何才くらいかも伝える。



○救急隊の仕事

救急隊は、けがをした人や病気になった人を救うための仕事をしています。消防署では、火事を消したり、けが人や病気の人を助けたり、人の命を守るために、協力して仕事をしていることがわかりました。

救急出動月別件数（奈半利町） 令和4年1月～12月



救急車は
1年間で、
256回も
出動した
んだね。



救急車



救急車の車内のようす



救急法講習会

救急救命士の方の話

中芸広域連合消防本部には救急車が3台あり、進んだ救急処置が行えるようになっています。せん門的な知しきを身につけた救急救命士が、処置にあたります。救急隊が到着するまでの間に、まわりの人が人工呼吸法など、自分たちでできる手当を続けることも大切です。

救急法講習会に参加して、救急や救助の活動について知ったり、体験してみて、もしものとき、自分たちにもできることを考えてみてください。

しょうぼうしょ
「消防署をたずねて、教えてもらいました。」



○ 火事を早く消すために、どんなことをしていますか？

- ・ 通報があると、急いで防火服を着て消防車に乗りこみ、火災現場に急ぎます。
- ・ 現場に到着すると、出火場所に走りながら放水の準備をします。(1分以内)
- ・ 出火場所に近づくとき、火元に向かって水をかけます。また建物内の火災の場合は、部屋の四すみに水をかけることが大事です。
- ・ 火災の程度もありますが、だいたい10分ほどで消火することが多いです。でも、はげしく燃えている時は、消火に何時間もかかることがあります。
- ・ 食事や入浴をしたり、寝ている(制服を着て仮眠します)ときも、通報があれば、すぐに準備をして出動します。
- ・ 指令室には昼も夜も関係なく、毎日24時間、署員が待機して、いつでも連絡を受けられるようにしています。



○ 出動のないときは、どんなことをしていますか？

- ・ いつでも出動できるように、消火訓練や救助訓練をしてそなえています。また走ったり、筋力トレーニングをしたりして、体力づくりも欠かせません。
- ・ 消防車や救急車は日ごろから点検し、いつ通報があっても、すぐ出動できるようにそなえています。
- ・ 勤務中は外で食事をしたり、買い物に出かけたりすることができないので、自分で食事をつくったり、弁当を配達してもらったりしています。



「トレーニング器具だよ」



「棚にケースが並んでいるね」
「食器が入っているそうだよ」

「弁当が届いたんだね」
「おいしそうだなあ」



いつでも出動できるように準備しているんだね。



(2) 交通事故や事件から人々を守る

交通事故をふせぐ



高知県の交通事故

	けん 件数	けが人	死者
令和 4 年	943	1010	26
令和 5 年	975	1049	23
令和 6 年	898	984	21

奈半利町の交通事故

	けん 件数	けが人	死者
令和 4 年	5	6	0
令和 5 年	1	1	0
令和 6 年	2	2	0

わたしたちは、交通事故の写真
を見ながら話し合いをしました。

「わたしは、自転車に乗っている
とき、歩行者や車にぶつかりそ
うになったことがあるわ。」

「交差点で、車と車がぶつかっているのを見たことがあるよ。」

警察署では、交通事故をふせぐために、どのようなことをして
いるのか調べてみよう。

交通事故はこわ
いね。日ごろから
ルールを守って、
安全に運転する
ことが大事だね。



けいさつしよ しごと ○警察署の仕事



交通事故をふせぐために、警察署ではどんな仕事をしているのでしょうか。

警察署の交通課では、交通安全のためにいろいろな仕事をしています。駐車違反やスピード違反を取りしまったり、事故がおきた



交通安全教室

ときは、交通整理やそうさをしたりしています。また、子どもたちが安全に生活できるように、交通安全教室も行っています。

奈半利駐在所には、安芸警察署地域課から警察官がきていて、奈半利の人々のくらしを守るために、はたらいています。

ちゅうざいしよ 駐在所ではたらく方の話

駐在所の警察官は、パトロールや交通の取りしまりなど、奈半利町の人々の命やくらしを守るために、いろいろな仕事をしています。事件や事故は、気のゆるみからおきます。「これぐらいなら大じょうぶ…」ではなく、自分や家族、まわりの人を大切に思う気持ちをもって生活しましょう。



けいさつほんぶ
高知県警察本部



あきけいさつしよ
安芸警察署



ちゅうざいしよ
奈半利駐在所

○通報するとどうなる？

110番をかける5つのポイント

- ① 何がありましたか？
(交通事故・どろぼうなど)
- ② いつ、どこで？
(時間や場所など)
- ③ どのようなのですか？
(事故や事件の様子)
- ④ けが人や、はん人は？
(性別や体格、人数など)
- ⑤ あなたの住所・名前・電話番号、
事故や事件との関係は？

110番の仕組み (高知県警察本部)



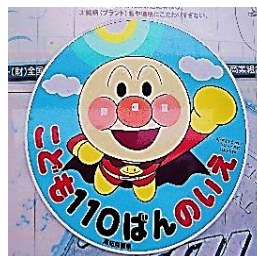
公衆電話

赤いボタンをおして、「110」をおすとつながるんだよ。



110番に通報すると、まず高知県警察本部の通信指令課につながります。通信指令課では、無線や電話で、警察署や駐在所・パトロールカーの警察官に連絡し、連絡を受けた警察官は、すぐに事故や事件の現場にかけつけます。けがをした人がいれば、消防署から救急車も出動します。

1本の電話で、警察署や駐在所、パトロールカー、消防署の間で速やかに連絡を取り合い、けが人を早く手当したり、事故や事件を早く解決できるようにしたりするのが、110番のしくみです。



こども110番の家

事件や事故から子どもを守るために、町内に16か所あります。

交通事故をふせぐための設備

学校のまわりにある、交通事故をふせぐためのいろいろな設備を調べてみました。



信号機



横断歩道



スクールゾーン



カーブミラー



交通ひょうしき



押しボタン信号

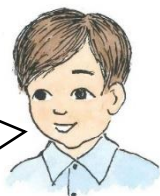
「奈半利町には、交通事故をふせぐために、多くの交通安全の設備があるんだね。見たことあるよ。どこにあったかな…」

「交通ひょうしきって、何を表しているんだろう…」

「交通事故にあわないために、気をつけることは…」



自転車に乗るときには、ヘルメットをかぶるようにしようね。夜、自転車に乗るときは、必ずライトをつけよう。



信号むしをしている人を見かけたことがあるよ。歩行者と自転車が、ぶつかりそうになっていたわ。

「^{けいさつしょ}警察署をたずねて、教えてもらいました。」

○ ^{じこ}事故や^{じけん}事件が起きたら、どうしていますか？

- ・^{つうほう}通報があると、すぐにパトロールカーで^{げんば}現場に向かいます。
- ・^{げんば}現場までの^{きょり}距離にもよりますが、^{つうほう}通報から^{へいきん}平均10分足らずで^{げんば}現場に到着します。
- ・^{じこ}事故や^{じけん}事件の内容にもよりますが、^{げんば}現場には2人で行くことが多いです。^{じこ}事故や^{じけん}事件の^{じょう}状況がたいへんな時にはもっと^{けいさつかん}警察官を呼んで、多くの人数で^{たいおう}対応します。
- ・^{ぼうごふく}防護服を着たり、いろいろな^き装備をしているので、^{つうほう}通報があつてから^き着替えることはないので、^{げんば}現場の^{じょうきょう}状況によっては、さらに^{そうび}装備を多くすることもあります。
- ・^{しょくじ}食事をしているときや^ね寝ているときも、^{つうほう}通報があれば、すぐに^{じゅんび}準備をして^{しゅつどう}出動します。
- ・^{けいさつしょ}警察署はずっと開いていて、^{けいさつかん}警察官は^{ちゅうや}昼夜に関係なく^{しごと}仕事をしています。いつ^{れんらく}連絡があつても^{しゅつどう}出動できるようにしています。
- ・^{じけん}事件には、^{みじか}短い^{かいけつ}時間で^{かいけつ}解決するものもありますが、中には「^{とくしゅ}特殊^{さぎ}詐欺」など、^{かいけつ}解決するまでとても長い^{きかん}期間がかかるものもあります。



○ ^{じこ}事故や^{じけん}事件のないときは、どんなことをしていますか？

- ・パトロールカーに^の乗って町のあちこちを見回り、^{じこ}事故や^{はんざい}犯罪を^{ふせ}防いだり、^{じこ}事故や^{じけん}事件にいち早く^{たいおう}対応したり、また^{かうつう}交通の^{とり}取りしまりをするためにパトロールをしています。パトロールは、^{とうげこう}登下校や^{じこ}事故の^お起こりやすい時間、また^{ふしんしゃじょうほう}不審者情報の多い時間になっています。
- ・^{かていほうもん}家庭訪問をして各^{かく}家庭の^{かぞくかんけい}家族関係などを^{しけん}知り、^{じけん}事件や^{たふらぶ}トラブルがあつた時に、^{さまざま}様々な^{たいおう}対応ができるようにしています。
- ・日ごろから^{じゅうどう}柔道や^{けんどう}剣道で^{たい}体をきたえています。また、^{はんざいしゃ}犯罪者を^{すみ}速やかに^{つか}捕まえるために、^{たいほじゅつ}逮捕術の^{くんれん}訓練をしています。



パトロールカー



たいほじゅつ くんれん
逮捕術の訓練



あんしん あんぜん
安心・安全なくらしが続くように、^{がいとう}街頭
パレードをしたり、^{こうつうあんぜんうんどう}交通安全運動など
をしたりして、町の^よ人に呼びかけも
しています。